標準仕様書

品　名　　VP-ⅡX用インターフェース

型　式　　M-IF-VP

出入管理システム
株式会社アート

SO6063-01-26312

＊＊＊目次＊＊＊

１．　概要 ..... － 2 －
２．　構成 ..... － 2 －
　２－１．　基本構成図 ..... － 2 －
３．　機能 ..... － 3 －
　３－１．　インターフェースの基本機能（ＣＥＶ版） ..... － 3 －
　３－２．　インターフェースの基本機能（カード未使用版） ..... － 3 －
　３－３．　手の甲認証装置（VP-ⅡX）の機能 ..... － 3 －
　３－４．　運用（ＣＥＶ版） ..... － 3 －
　３－５．　運用（カード未使用版） ..... － 3 －
４．　DSW（ディップスイッチ）の設定 ..... － 3 －
　４－１．　ＤＳＷ１（４連） ..... － 3 －
　４－２．　ＤＳＷ２（８連） ..... － 3 －
　４－３．　ＤＳＷ３（４連） ..... － 4 －
５．　通信仕様 ..... － 4 －
　５－１．　出入管理装置とインターフェース間の通信仕様 ..... － 4 －
　５－２．　手の甲認証装置とインターフェース間の通信仕様 ..... － 4 －
６．　起動時の動作 ..... － 4 －
７．　インターフェースの仕様 ..... － 5 －
　７－１．　仕様 ..... － 5 －
　７－２．　表示仕様 ..... － 5 －
８．　系統図 ..... － 6 －
　８－１．　ＣＥＶ版 ..... － 6 －
　８－２．　カード未使用版 ..... － 7 －

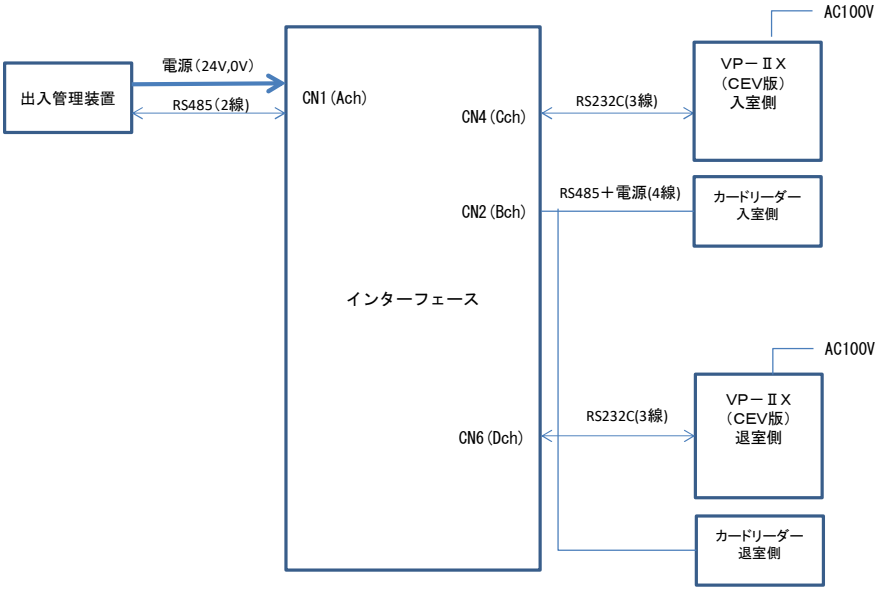
１．概要

本装置は出入管理装置(VA-02-LAN,WA-01/02/08/16,WFC-08/16,XA-01/02,XFC-08/16)とSYNCHRO社の手の甲認証装置(VP-ⅡX)を連動させるためのインターフェースユニットです。カード＋手の甲照合またはVP-ⅡX上のテンキーパッドでID入力＋手の甲照合による操作により照合結果を出入管理装置に送付します。

２．構成

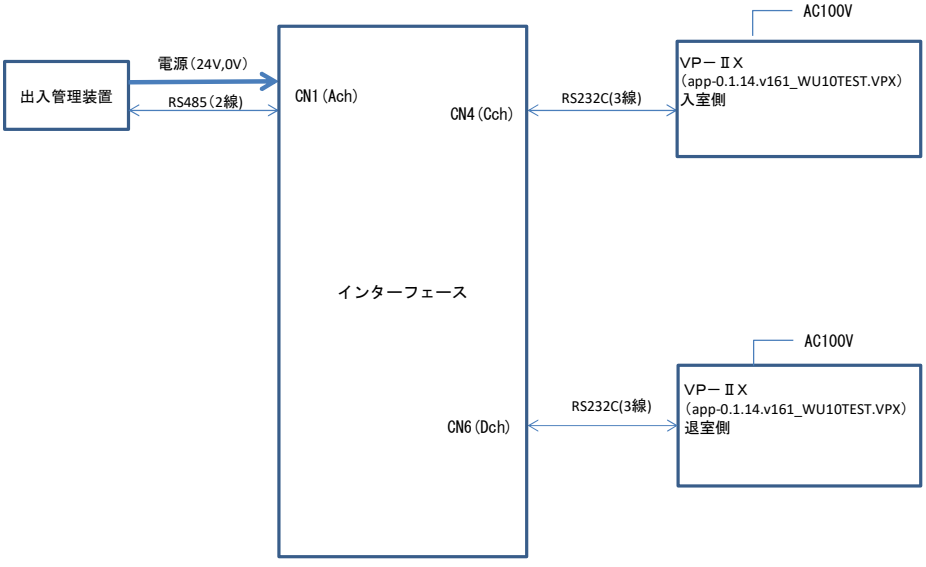
２－１．基本構成図

（１）カード＋手の甲認証（ＣＥＶ版）



1台のインターフェースには手の甲認証装置（VP-ⅡX）を入室側と退室側で２台、接続可能です。カードリーダーについても入室側と退室側で２台、接続可能です。
※OP-Bioが必要です。
※手の甲認証装置はSYNCHRO社に「CEV版」を指定して購入してください。

（２）テンキーでＩＤ入力＋手の甲認証（カード未使用版）



１台のインターフェースには手の甲認証装置（VP-ⅡX）を入室側と退室側で２台、接続可能です。
※OP-Bioは不要です。
※手の甲認証装置はSYNCHRO社にロム番号「app-0.1.14.v161_WU10TEST.VPX」を指定して購入してください。

３．機能

３－１．インターフェースの基本機能（ＣＥＶ版）

カードリーダーでカード照合したら、VP-ⅡXは手の甲照合待ち状態になります。手の甲の照合がＯＫとなったら解錠します。

（１）インターフェースに接続されたカードリーダーからカードデータを受け取り、出入管理装置に送信します。
（２）出入管理装置より取得したバイオIDをVP-ⅡXに送信します。
（３）手の甲を照合します。
（４）VP-ⅡXから照合結果受け取り、インターフェースで伝文を変換して出入管理装置に送信します。
（５）出入管理装置で照合した結果をＬＥＤ表示およびブザー鳴動します。

３－２．インターフェースの基本機能（カード未使用版）

VP-ⅡX上のテンキーパッドでID（数字のみ入力可）を入力し、手の甲を照合します。

（１）VP-ⅡXでID（個人コード、数字のみ）を入力し、手の甲を照合します。
（２）VP-ⅡXから照合結果を受け取り、インターフェースで伝文を変換して出入管理装置に送信します。
（３）出入管理装置で照合した結果をＬＥＤ表示およびブザー鳴動します。
（４）VP-ⅡX上の「F3」釦は警備セット用の釦として機能します。
（５）VP-ⅡX上の「F2」釦は暗証番号入力用の釦として機能します。IDを入力したあと、「F2」釦を押すと手の甲の代わりに4桁の暗証番号で認証することが可能です。

３－３．手の甲認証装置（VP-ⅡX）の機能

（１）VP-ⅡXのテンキーID登録は２～20桁の範囲となります。
（２）VP-ⅡXの登録上限は５万名（１：１認証）となります。

３－４．運用（ＣＥＶ版）

（１）カードをかざすと手の甲認証待ちになります。
（２）手の甲を認証すると解錠します。

３－５．運用（カード未使用版）

（１）VP-ⅡX上のテンキーパッドでIDを入力し、「ENT」釦を押します。
（２）手の甲を認証すると解錠します。

４．DSW（ディップスイッチ）の設定

４－１．ＤＳＷ１（４連）

SW1　未使用（OFF固定）
SW2　未使用（OFF固定）
SW3　未使用（OFF固定）
SW4　ON　　カード未使用による認証
　　OFF　カード＋手の甲認証（CEV版）

４－２．ＤＳＷ２（８連）

SW1　ON　　ブザー鳴動なし
　　OFF　ブザー鳴動あり
SW2　未使用（OFF固定）
SW3　未使用（OFF固定）
SW4　未使用（OFF固定）
SW5　ON　　VP-ⅡX接続なし。故障時にカードのみ照合にする(CN4側)
　　OFF　VP-ⅡXと接続あり(CN4側)
　　※VP-ⅡXを接続していない場合はON(接続なし)にしてください。

SW6　ON　VP-ⅡXと接続なし。故障時にカードのみ照合にする(CN6側)
　　OFF　VP-ⅡXと接続あり(CN6側)
　　※VP-ⅡXを接続していない場合はON(接続なし)にしてください。
SW7　ON　VP-ⅡXを退室側に設定する(CN4側)
　　OFF　VP-ⅡXを入室側に設定する(CN4側)
SW8　ON　VP-ⅡXを退室側に設定する(CN6側)
　　OFF　VP-ⅡXを入室側に設定する(CN6側)
※2台のVP-ⅡXを両方共入室側(または両方共退室側)に設定すると、正常に動作しません。

４－３．ＤＳＷ３(４連)

インターフェースのアドレス設定に用います。扉に合わせてアドレスを設定します。

※　インターフェースは１扉につき１台設置することが可能です。
インターフェース１台で2扉に渡ってVP-ⅡXを設置することは不可能です。

５．通信仕様

５－１．出入管理装置とインターフェース間の通信仕様

通信方式	RS-485(2線)
ボーレート	19200bps
データ長	8ビット
パリティー	なし
ストップビット	1ビット
誤り検出方式	BCC演算方式

５－２．手の甲認証装置とインターフェース間の通信仕様

通信方式	RS-232C(3線)
ボーレート	19200bps
データ長	8ビット
パリティー	なし
ストップビット	1ビット
誤り検出方式	1バイトのチェックサム

※手の甲認証装置とインターフェース間の距離は10ｍ以下にしてください。

６．起動時の動作

出入管理装置とインターフェースを接続し、出入管理装置からインターフェースに対して電源を供給すると、インターフェースは起動します。出入管理装置から設定データを受信するまで、全てのLEDを橙色点滅させます。設定データを正常に受信すると、橙色点滅は消灯し、待機状態になります。

７．インターフェースの仕様

７－１．仕様

項目		仕　　様
構造	外形	別途外形図による
	重量	約0.3Kg
	色	ライトグレー色
電気的仕様	電源電圧	DC24Ｖ±10%　（出入管理装置より供給）
	消費電力	2.9W
	制御方式	16ビットマイクロプロセッサ
使用環境	温度	0℃～40℃【結露なきこと】

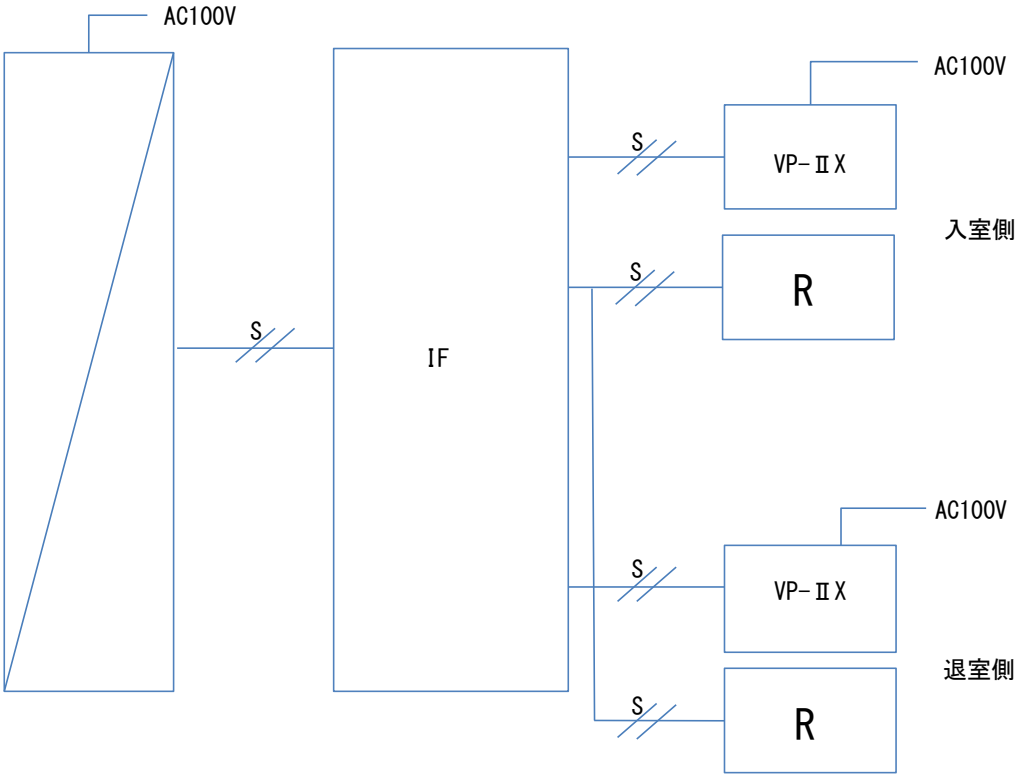
７－２．表示仕様

名　　称	色	アイコン
電源表示灯	橙	
解錠表示灯	緑 橙 赤	
エラー表示灯	緑 橙 赤	
警戒表示灯　警戒時(※3) 警戒解除、ループ正常時 警戒セット、ループ異常時	緑 橙 赤	

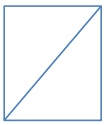
（※3）警戒表示灯は動作モード4の時のみ使用します。
動作モード4とは外部の警備機器と出入管理装置を連動するモードです。
詳細は出入管理装置の標準仕様書を参照願います。

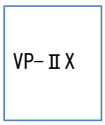
８．系統図

８－１．ＣＥＶ版



-凡　例-

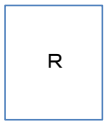

出入管理装置



VP-ⅡX(CEV版)

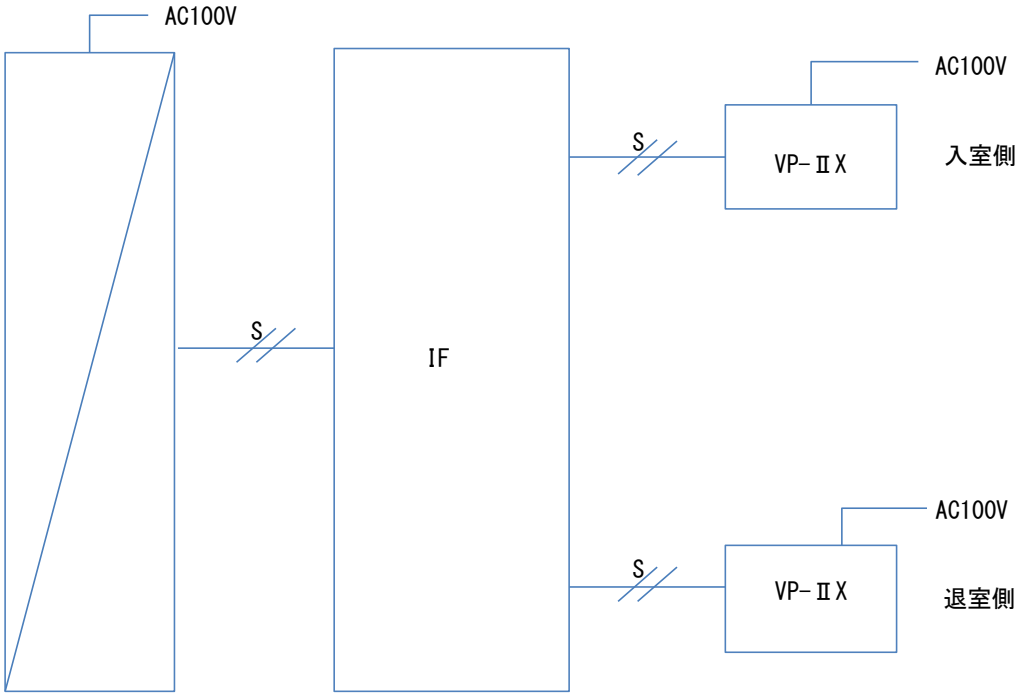
KPEVS 0.75-2P

M-IF-VP



カードリーダー

８－２．カード未使用版



-凡　例-

出入管理装置

IF　M-IF-VP

VP-ⅡX　VP-ⅡX
（カード未使用版）
（app-0.1.14.v161_WU10TEST.VPX）

S　KPEVS 0.75-2P